



区分	室名	面積	
導入部門	風除室	73㎡	
	玄関ホール		
教育普及部門	実習作業室	210㎡	
	会議・講座室(収容人数40人)		
	展示室		
収蔵部門	収蔵庫	481㎡	
	特別収蔵庫		
	写真・図面保管庫		
	荷解室		
	搬入コーナー		
	準備室		
	収蔵準備室		
	調査研究部門	体験学習・整理室	90㎡
	管理部門／その他	事務室	20㎡
		男子トイレ	
女子トイレ			
多目的トイレ			
更衣・休憩室			
湯沸室			
倉庫			
延べ床面積			874㎡

- 開館時間／午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日／土・日曜日、祝日
(12月29日～1月3日)
- 入館料／無料
- 駐車場／10台
(隣接の江南総合文化会館ピエアの駐車場も利用できます)



■ 電車ご利用の場合

- * JR高崎線「熊谷駅」下車、「小川町駅行き」または「循環器・呼吸器病センター行き」国際バスで約20分
- * 東武東上線「森林公園駅」下車、車で約15分
- * JR八高線・東武東上線「小川町駅」下車、「熊谷駅行き」国際バスで約25分

■ お車ご利用の場合

- * 関越自動車道「東松山インター」より約20分

熊谷市立江南文化財センター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代329番地
TEL 048-536-5062 FAX 048-536-4575
<http://www.city.kumagaya.saitama.jp/>

つくる・しる・ふれる

熊谷市立江南文化財センター



つくる、しる、ふれる

私たちの郷土熊谷は、丘陵・台地・沖積地と地形が変化に富み、この地で生活した各時代の人々の足跡が、多種多様な文化財として残されています。これらの文化財は、市域の歴史や文化を解き明かす市民共有の貴重な財産です。

江南文化財センターは、これら文化財を収集・保管して後世に伝える役割と、調査・整理を行い、その成果を公開・活用する役割を担っています。

「つくる、しる、ふれる」を基本理念として、体験学習や企画展示等を行います。



玄関ホール

玄関ホールの壁面には、中世石塔婆としては日本最古である嘉禄銘板碑をはじめ、寛喜銘板碑等代表的な板碑が展示されています。



展示室

収藏品の中から資料を選んで随時公開します。また、テーマを絞った企画・特別展示も行います。市域で発掘され、県を代表する寺内廃寺跡の建物復元模型も展示されています。



寺内廃寺航空写真

右から中門・金堂・講堂、金堂の上方に塔が位置しています。寺内廃寺は、八世紀に創建が始まった伽藍施設を備えた本格的な寺院でした。



寺内廃寺三重塔復元模型

発掘された一辺12mの基壇を元に復元した古代の三重塔。高さ15mに想定。

つくる
しる
ふれる

土器や勾玉など、ものを作る体験を通して新たな創造のちからを誘います。

郷土の歴史を調べ、想像することから郷土への理解を高めます。

間近に資料を見て、ふれて、質感や手触りを確認することができます。



収蔵庫

出土遺物や民具などの資料を分類・整理して収蔵し、活用に備えます。



特別収蔵庫

温度・湿度の管理の必要な工芸品、金属製品などを収蔵します。



会議・講座室

市域の歴史や文化財に関連した講座、土器作りや勾玉作りなどの体験講座も行います。

